



子育ての不安や
悩みを解消する
お手伝いをします



あおもり **子育てネット**

令和4年度 いじめ防止標語コンクール

優秀賞
作品

友だちを たすける人におれはなる

優秀賞は6作品あり、毎号紹介しています

青森市立新城小学校 2年 平山 楓大
※受賞当時の学校と学年です

令和5年度 青森県教育委員会の「施策の柱」

— 新しい時代を主体的に切り拓く人づくりに向けて —

青森県教育委員会では、青森県教育振興基本計画に基づき、**本県教育を取り巻く重要課題の解決**に向けて取り組む主要な施策を明らかにするため、「**施策の柱**」を設定し、**取組の重点化**を図ることとしています。

令和5年度は、以下の4つの柱を設定しました。

「**新しい時代を主体的に切り拓く人づくり**」に向け、保護者の皆様方をはじめ、市町村教育委員会、学校、その他関係機関や団体の皆様方と連携のもと、各種施策に取り組んでまいりますので、ご理解、ご支援をお願いします。

1 確かな学力の向上と社会の変化に応じた学びの推進

基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うなど確かな学力の向上を図ります。

とりわけ、グローバルな視野や情報活用能力の育成、防災教育の推進など、社会の変化に応じた学びを推進します。

また、幼児期からの教育の質的向上を図るため、「あおもり幼児教育センター」を設置し、関係団体の方々との連携して幼児教育推進体制の構築に取り組めます。

主な事業 県立学校におけるICTを活用した授業づくり推進事業

高等学校では、授業の充実による生徒の資質・能力の育成を図るため、推進校における実践研究やICTの活用推進に向けた教員研修等を実施します。

特別支援学校では、障害種や個々の障害に応じた主体的、対話的で深い学びを推進するための授業実践等に取り組めます。

主な事業 幼児教育の質的向上強化事業

幼児教育の質的向上を図るため、関係者が連携して幼児教育推進体制の在り方について研究するほか、幼保小連携の推進に向けた「幼保小の架け橋プログラム」の開発・実践等を行います。



⇒次ページにより詳しい内容を掲載しています!

2 地域で活躍する人財の育成及び県内定着の促進

子どもたちのふるさとに対する理解を深め、誇りや愛着心を醸成し、地域で活躍する人財の育成や将来の県内定着を見据えた取組を推進します。

また、特別支援学校生徒の社会的・職業的自立の促進に取り組むほか、学校・家庭・地域との連携を強化し、地域全体で子どもを育む仕組みづくりに取り組めます。

主な事業 持続可能な地域づくり「あおもり創造学」プロジェクト事業

高校生の県内定着促進や、持続可能な青森県を創造できる人財育成に向けて、全ての県立高校において高校所在地及び自身の居住地域等について理解を深める学習「あおもり創造学」に取り組めます。また、県内就職に関する情報提供や学校と企業の相互理解を促進するための就職支援員を配置します。

主な事業 地域と学校とのパートナーシップ強化事業

地域学校協働活動の更なる推進を図るため、学校関係者と地域の企業等との情報交換会等や市町村向けの研修会を実施するほか、モデルとなる県立学校に地域学校協働活動推進員を配置します。



3 子どもを守り支える安全・安心な教育環境の整備

県独自の少人数学級編制について、中学校2年生まで拡充するとともに、外部人材・外部専門家の配置を拡充し、教員が子どもに向き合う時間を確保してきめ細かな指導を行える体制の充実を図るほか、小学校教員の魅力の発信に取り組めます。

また、いじめや不登校等、支援が必要な児童生徒への対策を強化するとともに、学校施設等の整備・充実に取り組むなど、安全・安心な教育環境の整備に向けた取組を推進します。

主な事業 あおもりっ子育てプラン21事業

これまで小学校全学年及び中学校1年生を対象に実施していた33人学級編制(学年2学級以上の場合)を、2年間で中学校2・3年生に拡充します。

【学級編制基準】

| | 小1 | 小2 | 小3 | 小4 | 小5 | 小6 | 中1 | 中2 | 中3 |
|--------|----|----|----|-----|----|----|---------|-----|---------|
| ～R4 | | | | 33人 | | | | 40人 | 40人 |
| R5 | | | | 33人 | | | 33人【拡充】 | | 40人 |
| R6(予定) | | | | 33人 | | | | | 33人【拡充】 |



主な事業 多様な教育機会を活用した教育支援推進事業

小・中学校の不登校児童生徒を支援するため、関係機関と連携して支援の在り方について検討を進めるとともに、校内教育支援センター設置による調査研究を行うことにより、不登校支援の強化に取り組めます。

4 スポーツの振興と文化財の保存・活用

幼少期からの体力向上、肥満防止、運動不足の解消に関係部局との連携を強化して取り組むとともに、年間を通じてスポーツに親しめる環境づくりの促進や国民スポーツ大会の本県開催に向けた競技力の向上等を図ります。

また、郷土の文化財を知り、魅力を発信できる人財育成に取り組むとともに、かけがえのない文化財の保存・活用を図ります。

さらに、世界文化遺産となった縄文遺跡群の普遍的価値を次世代に継承するための取組を行います。

主な事業 県民の未来の健康創造事業

肥満傾向児出現率の改善に向け、児童生徒及びその保護者の生活習慣を踏まえた取組を推進するとともに、教員を対象とした体育・食育の楽しさアップ研修会を開催します。



主な事業 「みんなあつまれ!三内丸山遺跡」保存・活用事業

世界文化遺産として認められた三内丸山遺跡の価値を未来に継承し、伝えるため、地域住民や幅広い世代が参画できるイベントの実施や、国内外の観光客への積極的なPRを行います。



※人は青森県にとつての「財(たから)」であることを基本的な考え方としており、「人材」を「人財」と表記しています。

「あおもり幼児教育センター」を開設しました!

— 幼児教育の質的向上強化事業 —

青森県の幼児教育の 質の向上を目指します

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものです。幼稚園・保育所・認定こども園といった施設の違いにかかわらず、全ての子どもが質の高い教育を受けられるよう、幼児教育の質の向上が求められています。

また、小学校への円滑な接続を図ることも大切です。

そのため、あおもり幼児教育センターでは、青森県の幼児教育の拠点として、幼児教育施設等を支援していきます。



取組1 幼児教育推進体制の在り方研究

- 幼児教育アドバイザーによる県内の幼稚園、保育所、認定こども園、小学校の園内・校内研修等へのアドバイス、支援に関する研究
- 幼児教育アドバイザーによる教育相談に関する研究
- 幼児教育アドバイザー育成プログラムの開発
- 幼児教育推進担当部局の一元化研究

取組2 幼児教育の在り方検討委員会

- 幼児教育の有識者や関係機関からなる検討会議を設置し、本県の幼児教育の在り方について検討

取組3 幼保小連携の推進

- 2つのモデル地域における検証等を通じた「幼保小の架け橋プログラム」の開発・実践
- 「幼保小の架け橋プログラム」の実践事例集の作成
- 幼保小連携に関する研修の実施

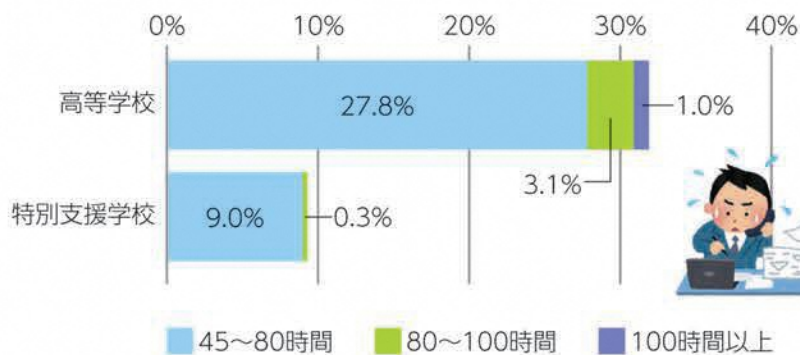
問 学校教育課 あおもり幼児教育センター TEL.017-734-9178

学校における働き方改革へのご理解とご協力をお願いします。

時間外勤務の状況

勤務時間外に働いている時間が、月80時間(いわゆる過労死ライン)を超えている先生がいます。

時間外在校等時間が月45時間を超える教育職員の割合
(令和3年度/県立学校分)



学校における働き方改革プラン(R5~R7)の策定

業務の削減や効率化を進めることによって、先生が、先生本来の仕事に時間をかけることができるよう、令和5年3月に、令和5年度から令和7年度までを取組期間とするプランを策定しました。

職場としての学校が目指す姿

- ① ワーク・ライフ・バランスを実現し、心身ともに健康で心にゆとりをもって働くことができる
- ② 子どもと向き合うことのできる時間を十分に確保し、やりがいを持って働くことができる

県教育委員会の主な取組

メンタルヘルス対策の充実、スクールカウンセラーやスクール・サポート・スタッフなど専門スタッフの活用、部活動指導員の配置、ICT活用の推進、調査内容・方法等の見直し、校外の会議・研修の見直し等

～保護者・地域の皆様へのごお願い～

遅くまで学校に残っている先生は、授業の準備などを行っています。

緊急の場合を除き、学校へ電話する際や面会・家庭訪問の時間を設定する際には、先生方の勤務時間について、ご配慮くださるようお願いいたします。

業務改善を通して時間外勤務を減らし、健康で心にゆとりを持って働くことができるようになることが、先生が子どもたち一人一人と向き合うことのできる学校環境につながっていきます。

子どもたちのよりよい教育環境を実現するため、学校における働き方改革の趣旨をご理解の上、ご協力くださるようお願いいたします。



学校における
働き方改革
詳しくはこちら



問 教職員課 人事制度グループ TEL. 017-734-9892

魅力ある高校づくりをさらに推進します！

～青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画が始まります～

令和3年11月12日に決定した「青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画」が、令和5年度から始まります。

この計画は、充実した教育環境の整備と各地域の実情への配慮の観点をしたものであり、生徒の学習意欲を高め、可能性と能力を最大限に伸ばすための「魅力ある高校づくり」を更に推進するものです。今回は、本計画の取組の一部を紹介します！



スクール・ミッションを決定！

県教育委員会では、県立高校の特色ある教育活動が推進されるよう、地域の実情を踏まえながら、各校に求められる役割や目指すべき学校像等を「スクール・ミッション」として決めました。

今後は、この「スクール・ミッション」に基づき各校において決定した「スクール・ポリシー」(「育成すべき資質・能力」「教育課程の編成と実施」「入学者の受入れ」の3つの方針)に沿って、教育活動の充実を図っていきます。

中学生のみなさんの進路決定にも役立つものとなっておりますので、是非HP等でご確認ください！

各校のスクール・ミッション、
スクール・ポリシー等は[こちら](#)



↑ 八戸東高校表現科のみなさんの協力の下、「スクール・ミッション」の紹介動画を作成しました！ぜひ一緒に謎解きしながらご覧ください。

動画は
[こちら](#)



青森南高校に「グローバル探究科」が誕生！

グローバル化が急速に進展する現代社会に対応する力を身に付けた人財を育成するため、令和6年度、青森南高校の外国語科を「グローバル探究科」に学科改編予定です。

◆身につく資質・能力

平和なグローバル社会の構築に貢献するために必要な探究心や多様な文化の理解と尊重の心、思いやりの心、他者と協働するためのコミュニケーション力等の幅広い教養を育成することを目指します。

※グローバル探究科は40人募集の予定です。

◆学習内容

SDGsの実現などをテーマに探究的な学びを重視しながら、自分の意見を相手に伝えたり、議論を深めたりするためのコミュニケーション力の育成を目指し、グループディスカッション、プレゼンテーションなどの協働的な学びにも取り組みます。

◆想定される進路

学力だけでなく人間性の向上も重視し、生徒一人一人に応じた進路実現を目指します。



地域校の魅力を紹介！

第2期実施計画における地域校4校(鱒ヶ沢高校、六ヶ所高校、大間高校、三戸高校)では、市町村と一体になった高校の魅力づくりに取り組んでいます。ほんの一部ですが、各校の魅力をご紹介します。

鱒ヶ沢高校



- ゴルフ部を新設!近隣のゴルフ場で実践練習ができます。また、スノーボードにも挑戦可能!本格的な施設で練習ができます。
- 出校時間の繰り下げで列車でも通いやすく、鱒高専用スクールバスや無料のあじバスも通学に利用できます!

\\今年、80周年を迎えます\\



六ヶ所高校



- 通学バスを利用し、遠方からも安心して通学が可能!
- 少人数授業や大学入試に向けた探究活動など特色ある授業を行います!

\\朝の通学バスの様子です\\



大間高校



- 大間、風間浦、佐井の各町村のイベントへの参加や、伝統芸能に触れる活動などを通して地域の良さを自ら発信・探究します!
- 船舶免許を始めとする各種資格取得を支援!

\\幼稚園で読み聞かせ\\



三戸高校



- 新設のクリエイティティ部では、コピーライティングやデザインなどを学ぶことができます!
- 生徒会館「清流会館」では、三戸町の給食センターで調理した昼食の提供があります!温かいものや栄養バランスのとれているもの、郷土料理も食べられます。

\\昼食が楽しみです\\



私たち、こんな活動しています! ~弘前第一養護学校~

学校から望む岩木山



弘前第一養護学校は、小学部、中学部、高等部からなる知的障害のある児童生徒が通う学校です。
 岩木山を望む弘前市駒越に位置する高等部には、53名の生徒が在籍しています。生徒たちは、作業学習の中で「流通サービス班」「農業班」「手芸・縫製班」「芸芸班」「リサイクル班」の5班に分かれ、それぞれの適性に合った様々な活動を行っています。
 その中から今回は、「農業班」の活動を紹介します。

農業班は、火・木・金曜の週3回、活動を行っています。

令和4年度は、大豆やポップコーン用のとうもろこし、日本ではまだ珍しい西洋野菜「ルバーブ」などの栽培に取り組み、4月に土を耕すところから、畝立て、種まき、草取りなど作物に応じて必要な作業を行ってきました。

中でも収穫量が多い大豆は、学校祭で販売するほか、動物の飼料「みんなのごはん」として「弥生いこいの広場」(弘前市)へ提供したり、みそ作り・豆腐作りをしたりと、色々な用途に活用しています。



ルバーブの収穫方法を教わっています



大豆など栽培した作物を加工した製品

この日は、栽培した大豆を使って「おぼろ豆腐」作りに取り組みました!



大豆をミキサーにかけています



みんなで試食します



後片付けも頑張ります!

豆腐はこうしてできあがるんだなあ

弘前第一養護学校では、高等部の作業学習をはじめとする多くの場面で、地域の方々にご指導をいただいたり、一緒に活動を行ったりしています。

このように地域の方々と関わりを持ちながら様々な活動に取り組むことが、子どもたちの意欲を高め、社会参加や自立につながっていきます。

★学校のHPでは、他にも活動を紹介しています!



おしらせ

県教育委員会では、より良い紙面づくりのため、皆様からのご意見、ご感想、ご要望をお待ちしております。
 (県教育庁教育政策課 情報広報グループ広報担当 TEL 017-734-9868)

青森県立図書館からのお知らせ

◆おはなし会

読み聞かせボランティアと図書館職員による絵本の読み聞かせや、子どもたちからリクエストのあった絵本の紹介を行います。

- 日 時/6月10日(土) 14:00~14:30
7月 8日(土) 14:00~14:30

- 場 所/青森県立図書館 児童閲覧室おはなしコーナー



◆おしえて先生!知るしるする探検隊

科学の実験やいろいろな仕事の人の交流、スポーツなどの体験、本の紹介などを行います。

- 日 時/6月24日(土) 14:00~14:30

- 場 所/青森県立図書館 児童閲覧室おはなしコーナー

問 青森県立図書館 TEL.017-739-4211
<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/>



梵珠少年自然の家からのお知らせ

◆9歳チャレンジキャンプ

豊かな自然環境の中で、同年代の仲間で行う共同生活体験や、挑戦心をかき立てるような自然体験活動をおして、小学校高学年へステップアップできるような基本的な生活習慣の確立と、仲間と協力しようとする態度を育みます。

- 期 日/7月15日(土)~17日(月・祝)【2泊3日】

- 対 象/小学3年生・4年生児童

- 定 員/24名

- 募集期間/6月12日(月)~20日(火)

◆夏の7daysキャンプ

豊かな自然の中で、自然体験活動及び野営や炊事などの自立を促す生活体験活動をおして、仲間の大切さや協力することの大切さを学び、人間としての強さやたくまさを育みます。

- 期 日/8月5日(土)~11日(金・祝)【6泊7日】

- 対 象/小学5年生~中学3年生の児童生徒

- 定 員/20名

- 募集期間/6月12日(月)~20日(火)

※参加費等の詳細は、当施設ホームページをご覧ください。

問 梵珠少年自然の家 TEL.0173-29-3303
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-bonju/bonju_top_index.html



特別展「三内丸山とヒスイ -本州最北に集う緑と技術-」開催!

縄文時代の緑色の宝石「ヒスイ」をテーマにした特別展です。新潟県からはるる三内丸山遺跡へと運ばれたヒスイがどのように加工され、使われたのか、そして縄文人にとってヒスイはどんな存在だったかに迫ります。

縄文人が大切にしていたヒスイをぜひご覧ください。

- 開催期間/4月15日(土)~7月2日(日)
- 観 覧 料/一般/800円、高校生・大学生等/400円
中学生以下無料

※特別展観覧料で遺跡を含む常設展も観覧可能です。

問 三内丸山遺跡センター TEL.017-782-9462
<https://www.sannaimaruyama.pref.aomori.jp/>



種差少年自然の家からのお知らせ

◆エンジョイ海遊び

いかだ遊び、かにつりなどの海辺の活動を通して、夏の海を思いきり楽しめます。

- 期 日/①7月1日(土) ②7月2日(日)

※9月にも2日実施予定です。いずれか1日にご参加ください。

- 対 象/年長児、小・中学生とその家族 ●募集人員/各日100名

- 内 容/いかだ遊び、カヌー遊び、サンドクラフト、磯遊び、かにつりなど

- 募集期間/①②の日程 6月7日(水)~9日(金)

◆おいでよ!サマーキャンプ

仲間とキャンプをしながら、自然に親しんだり協力して活動を楽しんだりします。

- 期 日/A日程 7月29日(土)~30日(日)

- B日程 8月 5日(土)~ 6日(日)

※A・Bの日程、いずれかに参加。

- 対 象/小学5年生~中学生 ●募集人員/各日程30名

- 内 容/野外活動・炊事、創作活動など

- 募集期間/A・B日程 6月28日(水)~30日(金)

※詳しくはホームページをご覧ください。

問 種差少年自然の家 TEL.0178-38-2131
<http://www.tanesashi.jp>



青森県立郷土館 土曜セミナー

郷土の歴史や文化、自然などについて、専門職員が楽しくわかりやすくお話しする講座です。受講料は無料で、どなたでも受講できます。

なお、当セミナーは「[あおもり県民カレッジ]」の単位取得講座(1回2単位)です。

- 期 日/6月3日(土)、7月15日(土)
- 時 間/13:30~15:00(受付時間13:00から)
- 場 所/青森県総合社会教育センター4階 第2多目的研修室

- 受 講 料/無料
- 定 員/40人(当日着順)
- ※各回のテーマ等、詳細については当館ホームページをご覧ください。

問 青森県立郷土館
 TEL.017-777-1585

<https://www.kyodokan.com>



高校生スキルアッププログラム

あなたの知識や経験の幅を広げませんか?
 令和4年度は4,424名の高校生が参加しました!

このプログラムでは、講座や講演会、体験学習など学校外で様々な学びの場に参加し、その感想をレポートにまとめると、1時間の学習につき1単位を取得できます。学びの場へ参加を続けると、20単位以上で奨励証、35単位以上で認定証が県教育委員会から交付されます!

進学や就職に向け、「自分の思いや考えを筋道立てて相手に伝える」スキルの向上に役立つこのプログラムに、ぜひご参加ください。

各高校へ案内を送付しましたので、興味のある方は担任の先生へご相談ください。



問 青森県総合社会教育センター
 TEL.017-739-1253

https://www.alis.pref.aomori.lg.jp/kouza/project_center/hssp/

